

**「わが家の電気・ガス料金しらべ」
報告書
(5月分)**

2017年7月

 **日本生活協同組合連合会**

総合運営本部 政策企画部

調査の概要

1. 調査の目的

生協（コープ）では、昨年4月の「電力自由化（家庭用電気小売事業の自由化）」に伴い、「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査を2回（5月分・8月分）実施し、その結果を踏まえて社会的に問題提起を行ってきました。

今年は、2017年2月に、国による家庭用LPガス小売業における料金透明化・取引適正化の指針（ガイドライン）が施行され、4月からは「都市ガス自由化（家庭用都市ガス小売事業の自由化）」がはじまるなど、暮らしに関わるエネルギーの制度改革が進んでいます。

こうした状況を踏まえ、引き続き2017年も「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査を実施していきます。今回は、5月分の電気・ガス料金について、調査を行いました。

2. 実施方法

調査専用のWebサイト、「わが家の電気・ガス料金しらべ」（スマートフォン、パソコン両方に対応）を設置し、インターネットで調査を行いました。組合員が契約している、電気・ガス（都市ガス、LPガス）の料金や事業者名について、5月分の領収書を見ながら入力いただき、都道府県別に状況を集約しました。

今回の報告書は、5月の請求書（領収書）をもとに、6月1日～30日までの調査期間中に回答いただいたデータを分析しました。

3. 調査対象

（1）インターネットモニターによる調査

日本生協連のインターネットモニター（全国約4,500名）に、Eメール配信し、ご協力をお願いしました。

（2）県連・会員生協の学習活動と結びつけた調査

組合員の学習活動などとあわせて、春の組合員向け諸会議資料やメールマガジンなどで、組合員向けに調査協力の呼びかけをしました。

4. 回収状況

上記3.の（1）と（2）の呼びかけを行ったところ、6月1日～30日の期間中に、2,276件の回答をいただきました。そのうちの2,182件を有効回答とし、分析を行いました。

調査結果の特徴

1. 都市ガスの自由化に関わって

- 都市ガス自由化の認知度では、「知っている」と回答した割合は 75%で、4人に1人は「知らない」と回答した。地域間格差がきわめて大きく、「知っている」と回答した割合が、近畿で 89%、関東で 86%と高かった一方で、中国では 40%、四国では 42%と半数以下だった。
- 都市ガス自由化以降、ガス会社を替えた方は全体の 5%、メニューを替えた方は 7%だった。ガス会社の切り替えも地域間格差が大きく、「新しいガス会社に切り替えた」が九州では 9%、近畿では 8%である一方で、北海道、東北、中国、四国は新規参入事業者がなく、「新しいガス会社に切り替えた」は 0%だった。

2. 都市ガスとLPガス料金の比較、契約時書面の交付に関わって

- LPガスの料金は、都市ガスの料金よりも月平均で 738円高く、家庭によっても大きくバラツキがある（料金差がきわめて大きい）。とりわけ、集合住宅（賃貸）のLPガス料金がきわめて高くなっている。
- 都市ガスとLPガスの使用量をカロリー調整※したうえで比較すると、戸建てにおいて、LPガスの使用量が著しく低い。LPガスを使用している戸建について、灯油を併用している関係で、LPガスの使用量が著しく低い世帯が多いことが影響していると思われる。
- LPガスの契約時の書面について、「保管してある」が 43%、「もらったがなくした」が 24%、「もらった覚えがない」が 32%で、過半数の方が手元にないと回答している。

3. 電力自由化に関わって

- 電力自由化以降、電力会社を替えた方は、全体の 11.7%と、昨年 8 月分の調査よりも 4.4ポイント増加し、着実に切り替えが進んでいることが明らかとなった。
- 電気使用量と料金の平均を昨年の 5 月と比較すると、今年 5 月の方が使用量はほぼ横ばいだったが、料金は高くなっている。料金の平均が高くなった原因は、再エネ賦課金と燃料調整単価の値上がりによるものと考えられる。

※都市ガスとLPガスはカロリー（熱量）が異なるため（都市ガスが約 10,740kcal/m³、LPガスが約 24,000kcal/m³）、両者の使用量を比較する際には、LPガスの使用量（m³）を 2.23 倍して、カロリー調整を行っている。

調査結果

1. 回答者の概要について

(1) 都道府県別 回答数

5月分における回答者は、2,276件となった。そのうち2,182件を有効回答とし分析を行った。都道府県別にみると、兵庫県が318件で最も多く、大阪府が215件、宮城県が174件、北海道が160件、福岡県が145件、東京都が127件と続いた。

都道府県別 回答数 (件)

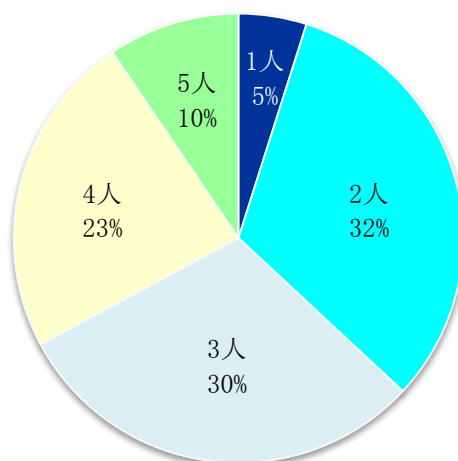
北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
160	13	41	174	13	19	8	37
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
24	21	75	84	127	89	23	14
石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
15	7	9	26	48	51	86	39
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
18	29	215	318	25	7	7	10
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
30	32	16	8	5	12	8	145
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
8	24	13	13	0	36	0	2,182

(2) 家族人数

家族人数は、2人家族が699件で32%と最も多く、3人家族が659件で30%と続いた。

家族人数	1人	2人	3人	4人	5人
件	107	699	659	510	207

家族人数

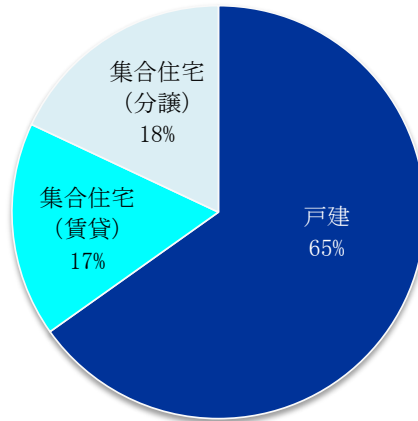


(3) 住宅（戸建、集合住宅）

住宅は、戸建が1,422で65%、集合住宅（分譲）が393件で18%、集合住宅（賃貸）が367件で17%だった。

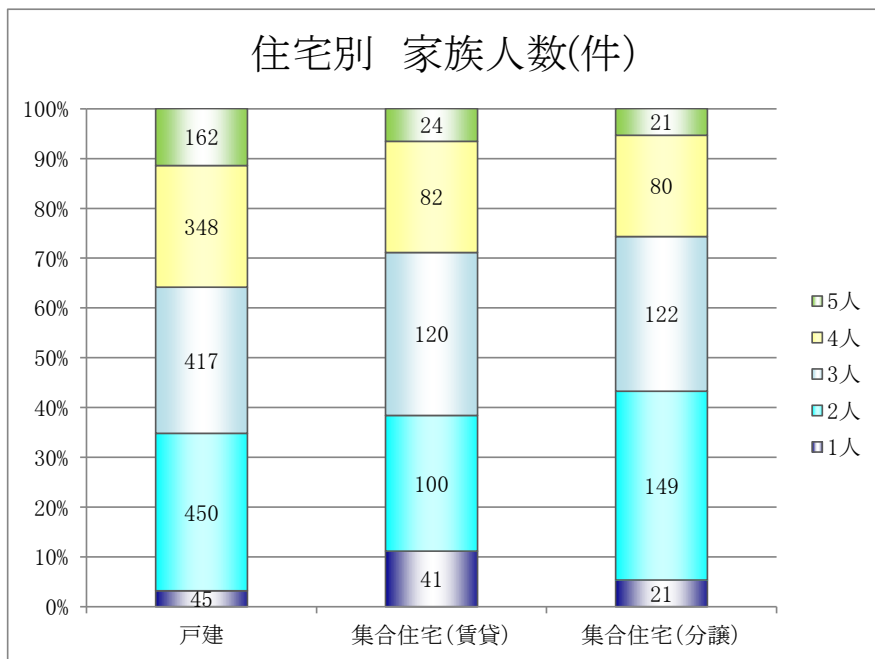
	戸建	集合住宅(賃貸)	集合住宅(分譲)
件	1422	367	393

住宅の種類



(4) 住宅別 家族人数

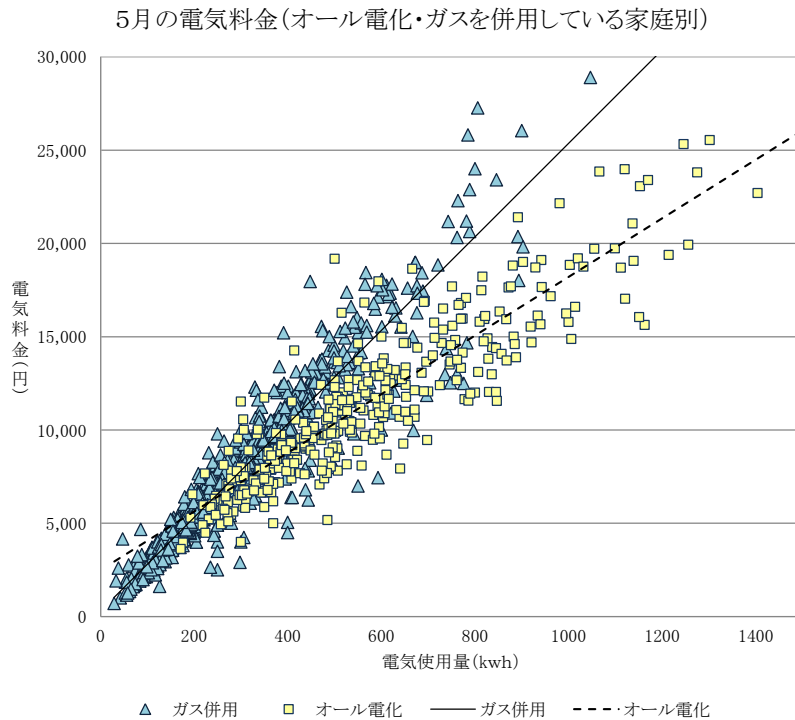
家族人数を住宅別（戸建、集合住宅（賃貸）、集合住宅（分譲））にみると、1～3 人家族では集合住宅の割合が多いが、それ以上の家族人数だと戸建の割合の方が多かった。また、1人世帯の割合は、戸建や集合住宅（分譲）と比べて、集合住宅（賃貸）の割合が高い。



2. 電気料金について

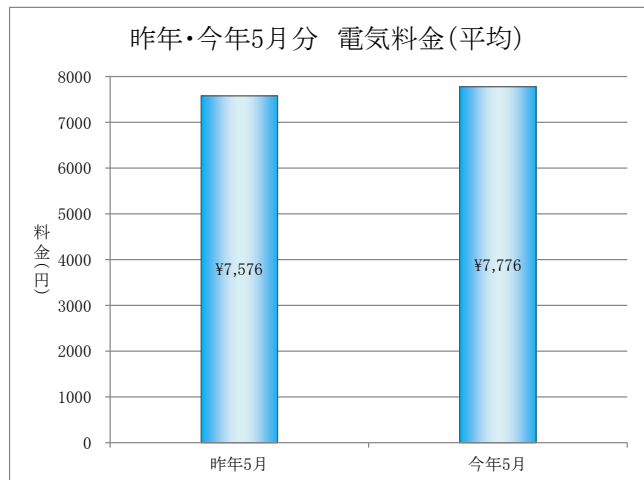
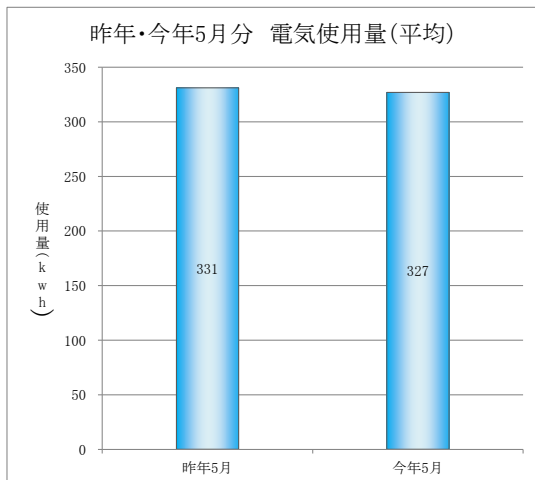
(1) 電気料金

5月の電気の使用量の平均は326.8kwh、平均料金は7,775円だった。なお、電気料金分布のバラツキについては、オール電化の料金体系が、ガスを併用している一般の家庭と異なっていることなどが要因となっていると考えられる。



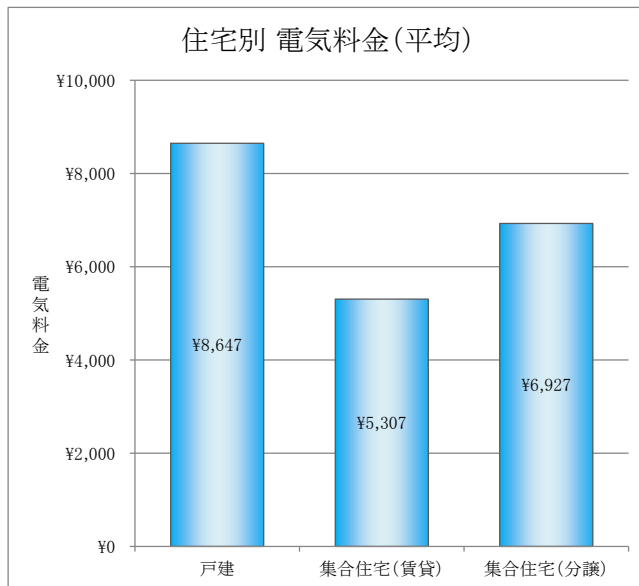
(2) 電気使用量と料金(今年5月と昨年5月の比較)

電気使用量と料金の平均を昨年の5月と比較すると、今年5月の方が使用量はほぼ横ばいだったが、料金は2.6%高くなっている。料金の平均が高くなった原因は、再エネ賦課金と燃料調整単価の値上がりによるものと考えられる。



(3) 電気料金（住宅別）

電気料金を住宅別にみると、戸建が平均 8,647 円（平均使用量 368.9kwh）、集合住宅（分譲）が平均 6,927 円（平均使用量 279.1kwh）であり、集合住宅（賃貸）が平均 5,307 円（平均使用量 214.8kwh）だった。それぞれの電気料金は電気の使用量にほぼ対応している。

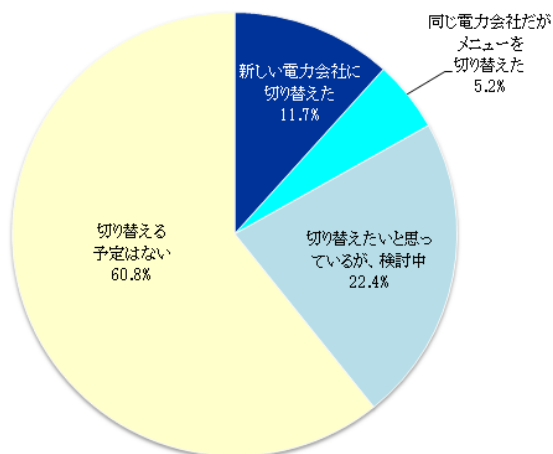


(4) 電力会社・電気料金の切り替え経験・予定

「新しい電力会社に切り替えた」が 255 件で 11.7%、「同じ電力会社だが、メニューを切り替えた」が 113 件で 5.2%、「切り替えたいと思っているが、検討中」が 488 件で 22.4%と、あわせて約 4 割が切り替えたか、切り替えを検討していることがわかった。

電力会社・電気料金の切り替え経験・予定	件数
1 新しい電力会社に切り替えた	255
2 同じ電力会社だが、メニューを切り替えた	113
3 切り替えたいと思っているが、検討中	488
4 切り替える予定はない	1,326

電力会社・電気料金の切り替え経験・予定



(5) 電力会社・電気料金の切り替え経験・予定（推移）

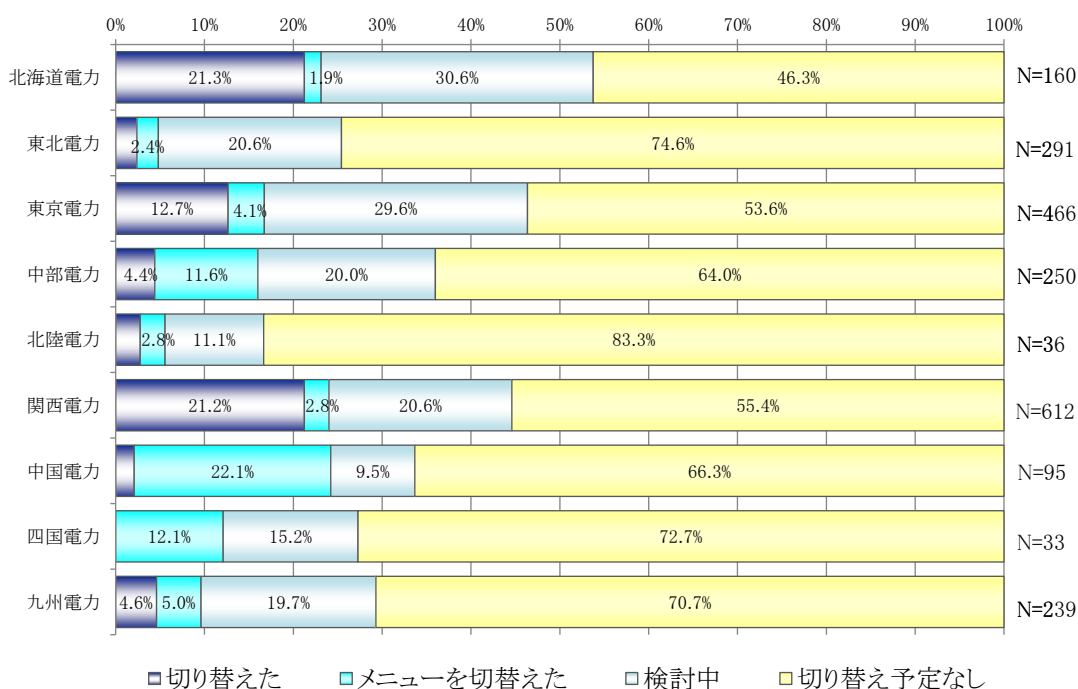
電力会社・電気料金の切り替え経験・予定の推移について、16年5月、16年8月、17年5月の順にみると、「新しい電力会社に切り替えた」が3.7%、7.3%、11.7%、「同じ電力会社だが、メニューを切り替えた」が2.9%、2.3%、5.2%、「切り替えたいと思っているが、検討中」が32.7%、24.1%、22.4%となっている。一方、「切り替える予定なし」との回答は、60.8%、66.3%、60.8%と、常に6割以上いることがわかった。

電力会社・電気料金の切り替え経験・予定（推移）			
	16年5月(%)	16年8月(%)	17年5月(%)
1 新しい電力会社に切り替えた	3.7	7.3	11.7
2 同じ電力会社だが、メニューを切り替えた	2.9	2.3	5.2
3 切り替えたいと思っているが、検討中	32.7	24.1	22.4
4 切り替える予定なし	60.8	66.3	60.8

(6) 今後の電力会社・電気料金の切り替え予定（電力会社別）

電力会社エリア別でみると、北海道電力エリアと関西電力エリアで、約2割が電力会社を切り替えており、ついで東京電力エリアでも1割を超えた。他方で、四国電力エリアでは電力会社の切り替えは0だった。電力会社を切り替えるかどうかを検討中の回答者も、地域間格差がかなり見られた。

電力会社エリア別 切り替え経験・予定

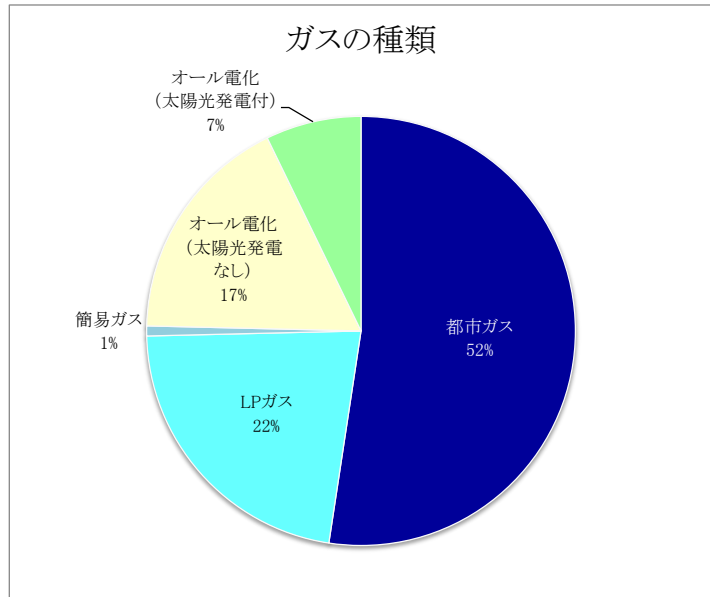


3. ガス料金について

(1) ガスの種類

使用しているガスを種類別にみると、都市ガスが 1,113 件で 52%と最も多く、LP ガスが 472 件で 22%、オール電化（太陽光発電なし）が 370 件で 17%となっていた。

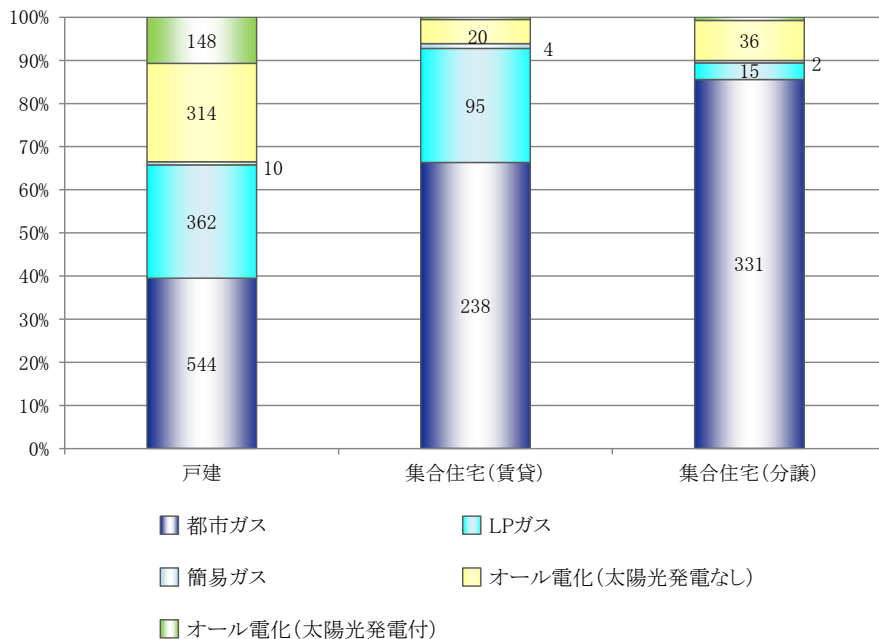
	件数
都市ガス	1113
LPガス	472
簡易ガス	16
オール電化(太陽光発電なし)	370
オール電化(太陽光発電付)	153



(2) ガスの種類（住宅別）

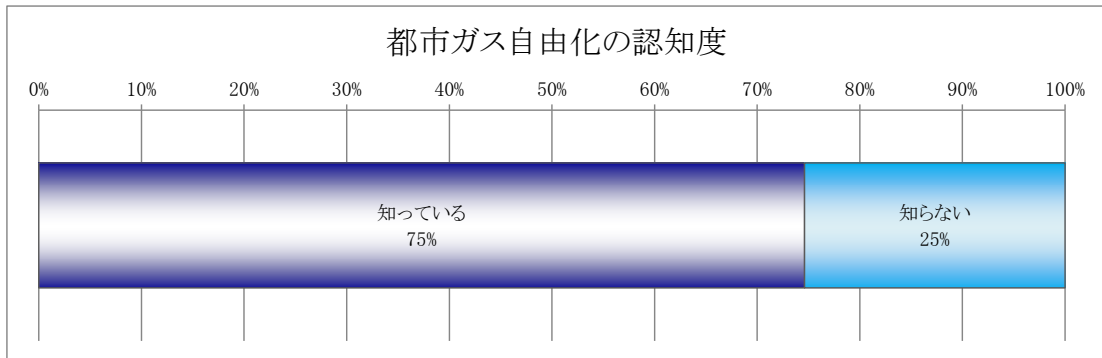
使用しているガスの種類を住宅別にみると、都市ガスについては、戸建が 544 件で約 40%、集合住宅（賃貸）では 238 件で約 66%、また集合住宅（分譲）では 331 件で約 86%と、他と比較して一番高い割合を占めている。LP ガスは、戸建が 362 件で約 26%、集合住宅（賃貸）で 95 件で約 26%である一方、集合住宅（分譲）では 15 件で約 4%と、他と比較して著しく低い。

住宅別ガスの種類



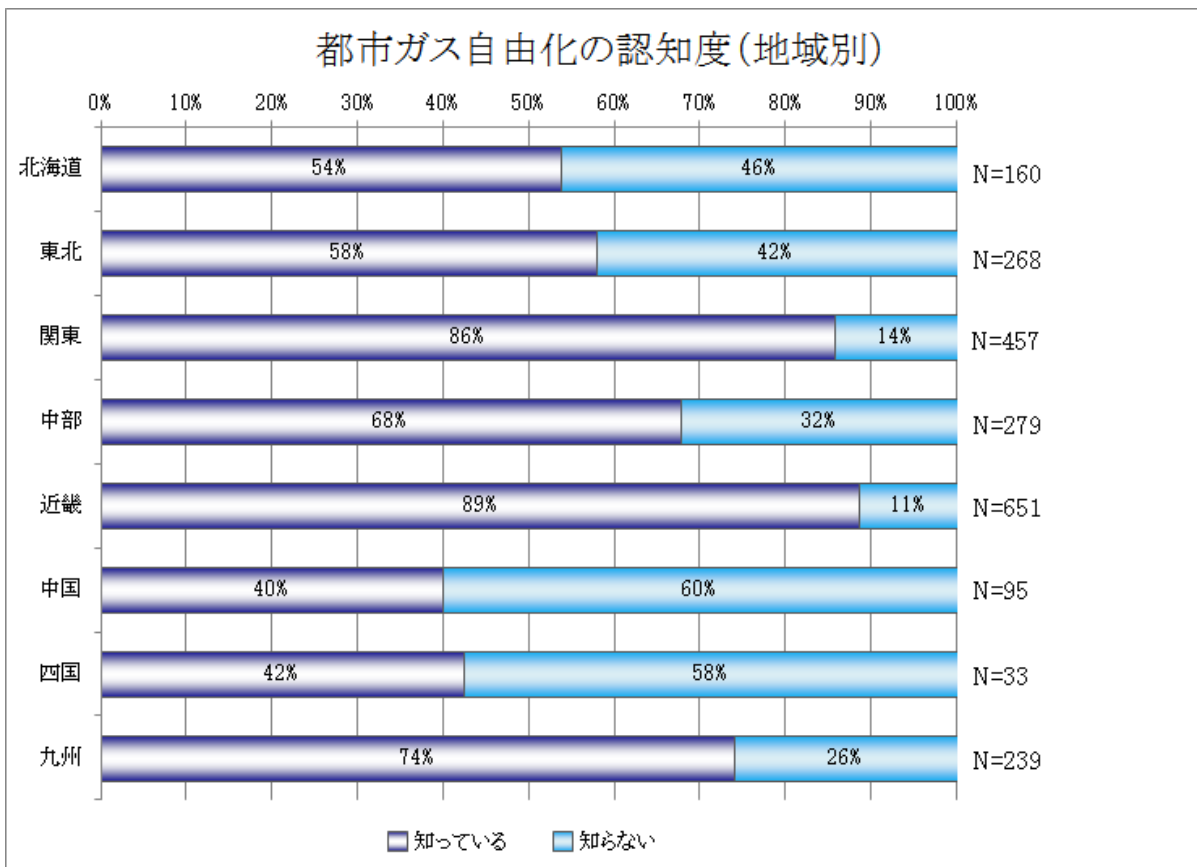
(3) 都市ガス自由化の認知度

2017年4月から始まった「都市ガス自由化」について聞いたところ、「知っている」と回答した割合が75%であった。



(4) 都市ガス自由化の認知度 (地域別)

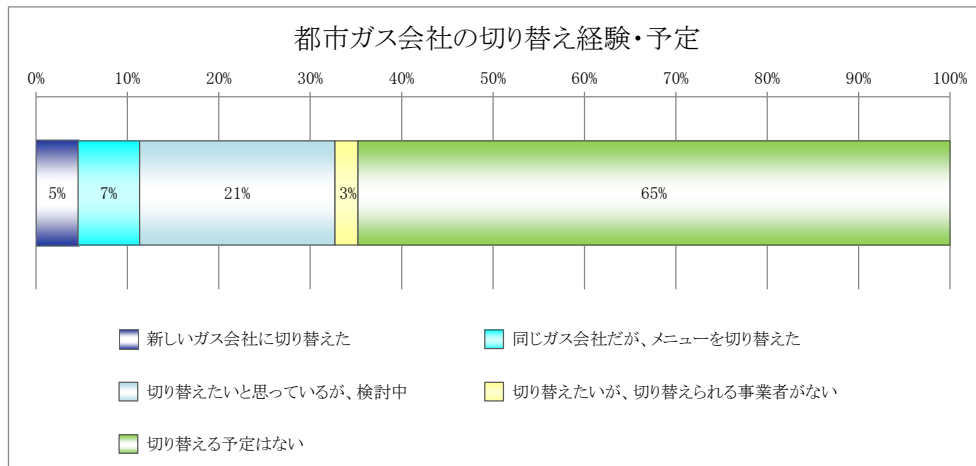
都市ガス自由化の認知度を地域別にみると、地域間格差がきわめて大きい。知っていると回答した割合が、近畿で89%、関東で86%と高かった一方で、中国では40%、四国では42%と半数以下だった。



(5) 都市ガス会社・メニューの切り替え経験・予定

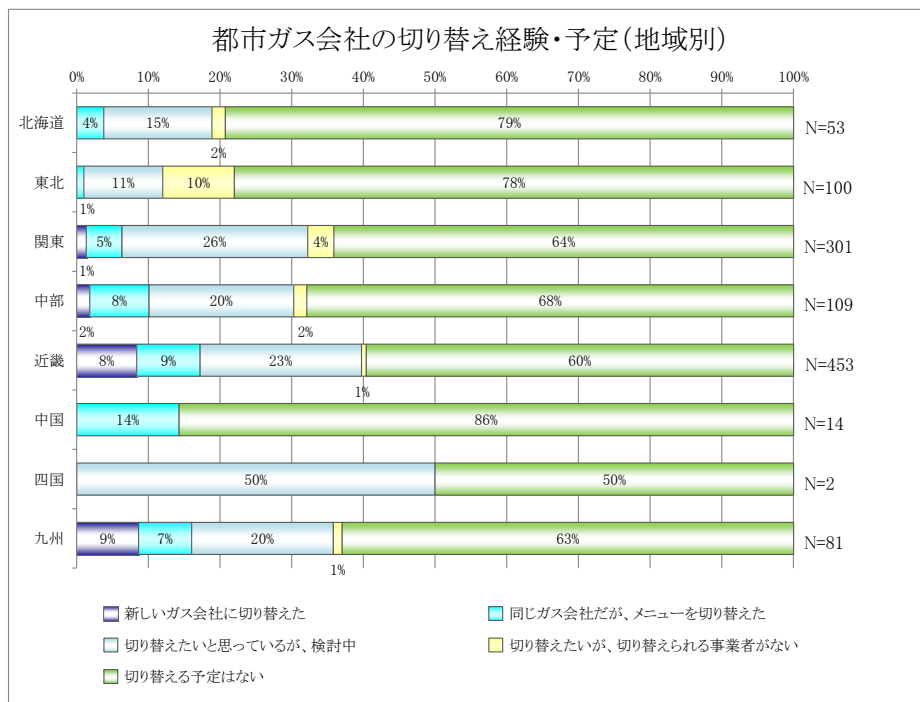
「新しいガス会社に切り替えた」が 51 件で 5%、「同じガス会社だが、メニューを切り替えた」が 75 件で 7%、「切り替えたいと思っているが、検討中」が 238 件で 21%と、3 割以上が切り替えたか、切り替えを検討していることが分かった。一方で、「切り替えたいが、切り替えられる事業者がない」が 28 件で 3%となっていた。

都市ガス会社の切り替え経験・予定	件数
新しいガス会社に切り替えた	51
同じガス会社だが、メニューを切り替えた	75
切り替えたいと思っているが、検討中	238
切り替えたいが、切り替えられる事業者がない	28
切り替える予定はない	721



(6) 都市ガス会社・メニューの切り替え経験・予定（地域別）

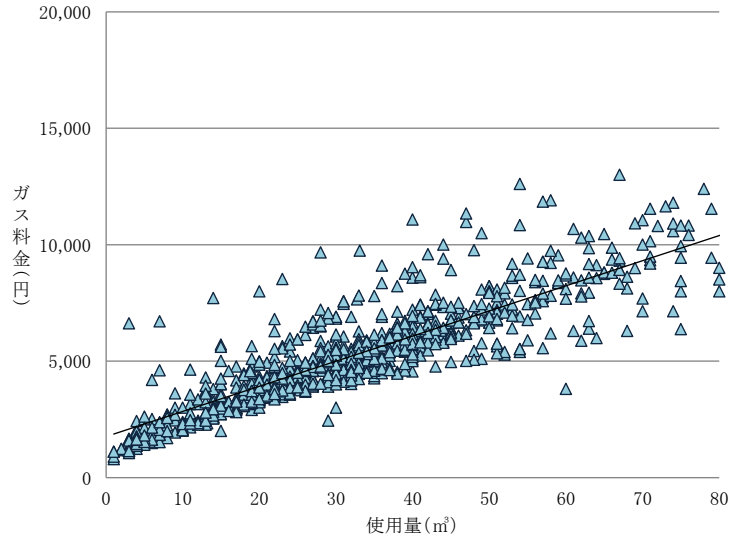
地域別でみると、「新しいガス会社に切り替えた」が九州では 9%、近畿では 8%となっている。北海道、東北、中国、四国は新規参入事業者がなく、「新しいガス会社に切り替えた」は 0%である。「同じガス会社だが、メニューを切り替えた」については、近畿で 40 件（9%）、関東で 15 件（5%）、中部で 9 件（8%）、中国で 2 件（14%）となっている。



(7) 都市ガスの料金

都市ガスの使用量の平均は 32.5 m³で、平均料金は 5,277 円だった。料金の分布をみると、使用量によって価格は比例しており、家庭によって大きなバラツキも見られなかった。

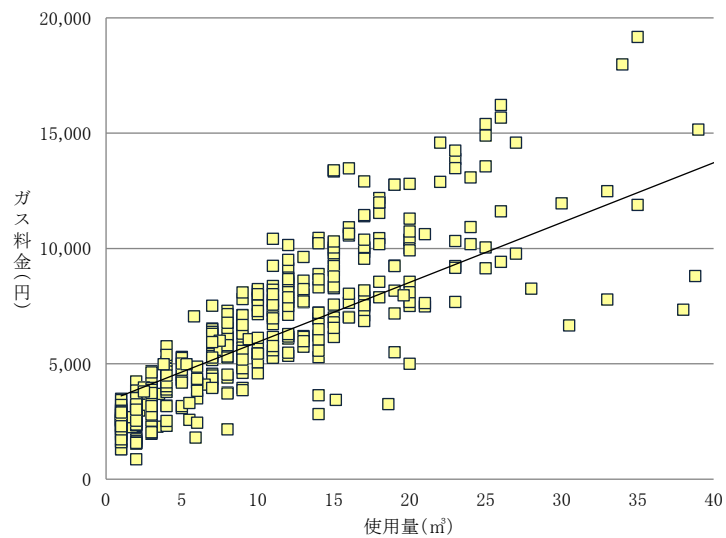
都市ガス料金の分布



(8) LPガスの料金

LP ガス使用量の平均は 10.3 m³で、平均料金は 6,015 円だった。昨年 5 月分は平均 11.0 m³、平均料金 6,051 円だったので、ほぼ同水準といえる。都市ガスの平均料金と比較すると、LP ガスの方が 738 円高かった。また、料金の分布をみると、家庭によって大きなバラツキがみられた。同じ量を使用している世帯でも、料金は最低と最高で大きな差がみられた。

LPガス料金の分布

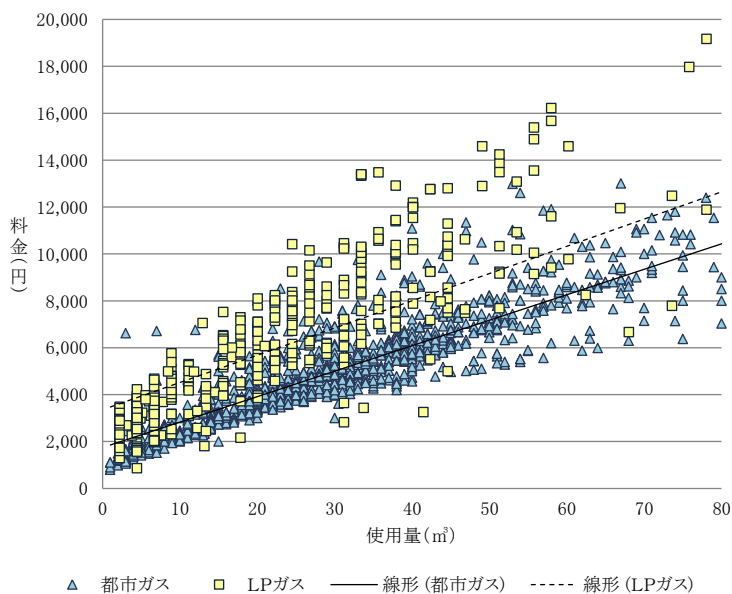


(9) 都市ガスとLPガスの料金の比較

都市ガスの料金と、LPガスの料金の比較を行った。都市ガスとLPガスはカロリー（熱量）が異なるため（都市ガスが約10,740kcal/m³、LPガスが約24,000kcal/m³）、LPガスの使用量（m³）を2.23倍し、分布図を重ねた。その結果、LPガスは都市ガスに比べて料金が大きく、LPガスは、都市ガスに比べて各家庭によって料金のバラツキが大きかった。

都市ガスとLPガスの料金比較

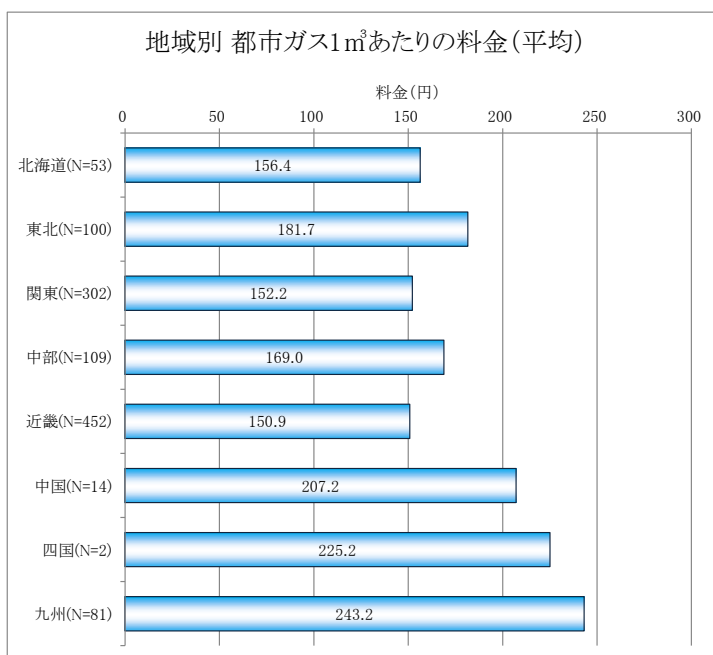
※カロリー調整済



(10) 都市ガスの料金（地域別）

都市ガスの1m³あたりの料金について、地域別に比較した。他のエリアと比較して、九州エリアは使用量が少なく、1m³あたりの料金が高かった。使用量が少ないと、基本料金の占める割合が高くなることから、1m³あたりの料金も上がる傾向にある。

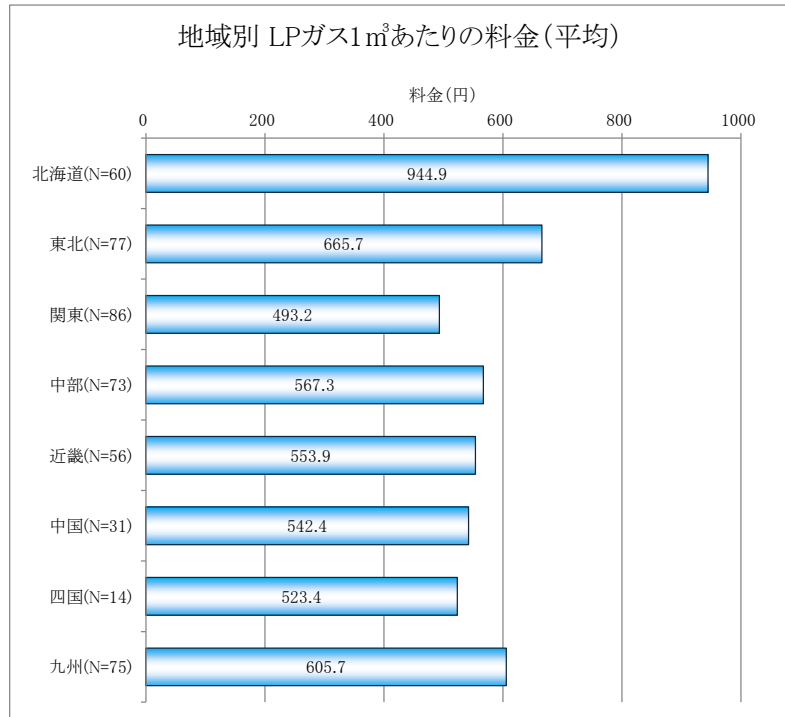
	使用量平均 (m ³)	料金平均 (円)
北海道	31.6	4935
東北	34.7	6309
関東	32.5	4952
中部	35.3	5973
近畿	33.0	4984
中国	34.9	7236
四国	30.0	6755
九州	23.7	5763



(11) LP ガスの料金（地域別）

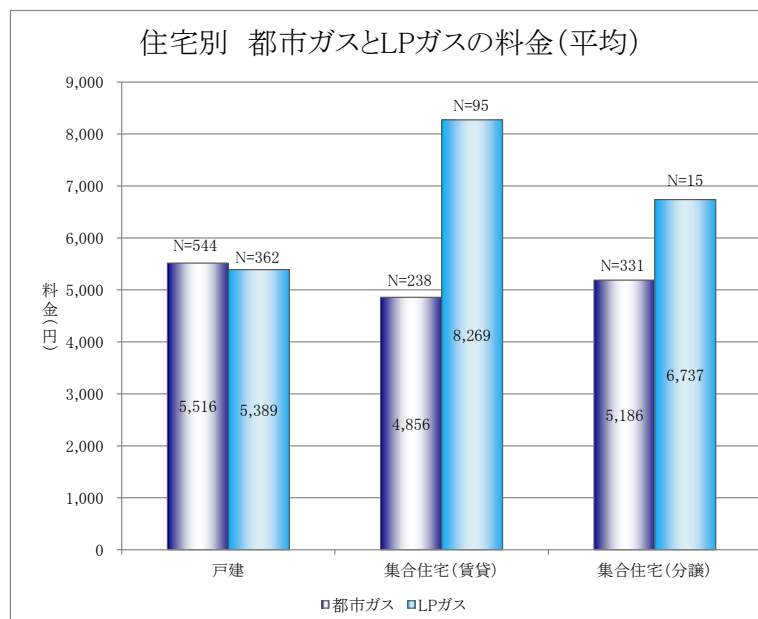
LP ガスの 1 m³あたりの料金について、地域別に比較した。北海道エリアは、使用量と料金の平均が他のエリアより低く、1 m³あたりの料金がきわめて高くなっている。また、東北エリア、九州エリアも 1 m³あたりの料金が比較的高かった。使用量が少ないと、基本料金の占める割合が高くなることから、1 m³あたりの料金も上がる傾向にある。

	使用量平均 (m ³)	料金平均 (円)
北海道	4.8	4529
東北	8.0	5353
関東	12.2	5996
中部	12.2	6919
近畿	12.4	6895
中国	13.0	7043
四国	12.9	6748
九州	9.6	5788



(12) 都市ガスとLPガスの料金の比較（住宅別）

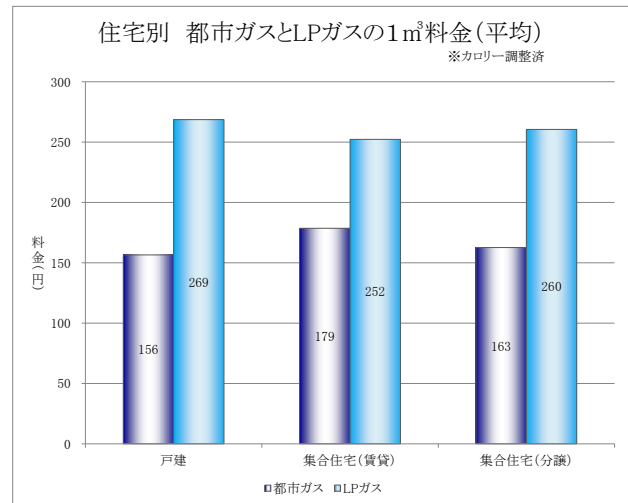
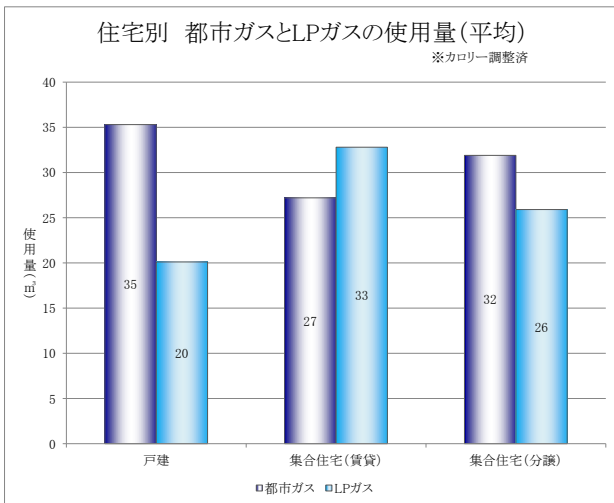
都市ガスの料金とLPガスの料金を住宅別に比較した。集合住宅（賃貸）は、都市ガスが 4,856 円、LPガスは 8,269 円、集合住宅（分譲）は都市ガスが 5,186 円、LPガスが 6,737 円と、LPガスの方が高い。一方、戸建については、都市ガスは 5,516 円、LPガスは 5,389 円であり、わずかに都市ガスの方が高い。



(13) 都市ガスとLPガスの使用量と料金の単価比較（住宅別）

カロリー調整をして（LP ガスの使用量（m³）を 2.23 倍）、都市ガスと LP ガスの使用量を比較した。戸建について、都市ガスと比べると、LP ガス使用量の平均が著しく低い。LP ガスを使用している戸建について、灯油を併用している関係で、LP ガスの使用量が著しく低い世帯が多いことが影響していると思われる。

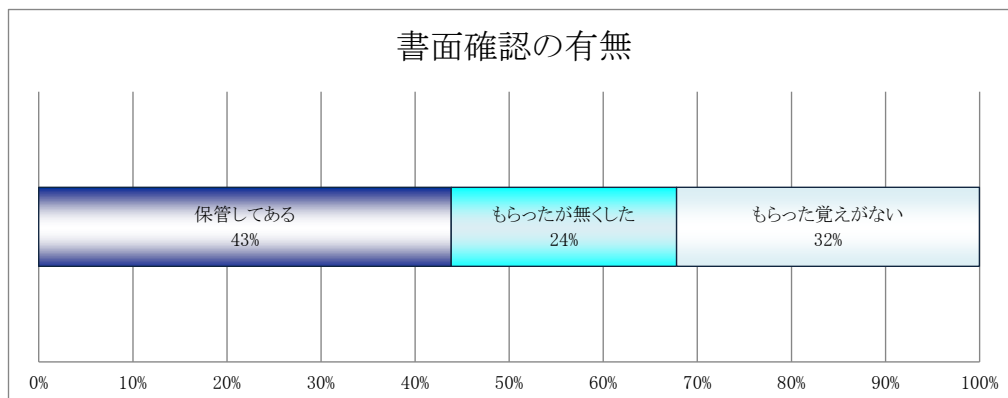
また、平均料金をカロリー調整した使用量で割り、1 m³あたりの料金を都市ガスと LP ガスで比較すると、戸建と集合住宅のいずれも LP ガスが都市ガスを大きく上回る結果となっている。



(14) 書面確認の有無

LP ガスの販売事業者は、消費者との契約に当たって、配管その他の設備関係の所有権や所有関係及び料金算定方法等の重要事項を消費者に対して十分に説明し、取引等の内容を明確にするために書面の交付を義務づけられている。その書面を販売事業者からもらったどうかについてきた。回答者のうち、「保管してある」が 168 件で 43%、「もらったが無くした」が 94 件で 24%、「もらった覚えがない」が 126 件で 32%となっており、合計で過半数の方が手元にない状況にあった。昨年 5 月、8 月分の調査と同様の傾向となっている。

1	保管してある	207
2	もらったが無くした	113
3	もらった覚えがない	152



4. 自由記入「電気料金・ガス料金について思っていること」

【電気・ガス全般について】

- ・電気料金はガス会社の方が、またガス料金は電力会社の方がお得というのは理屈はわかっているも納得がいかない。それぞれにもっと料金は下げられるという事ではないか。これを機会に料金体系が見直されていく事を期待する。
- ・ガスは使う量が多くなると安く単価が下がるが電気は増えると単価が上がる。検針日によって日数が変わり、使用量が増えると単価があがるのが納得できない。
- ・自由化と言われているが、大規模マンションに住んでいるため、個人で勝手に契約はしないよう言われている(マンション全体での切り替えを考えているため)。自らも節電、節ガス、節水の意識を持つとともに、消費者として賢く会社を選んでいきたいと思う。
- ・自由化で切替も検討したが、一時的にキャンペーンで安くなるようでも、2年目からは割高だったり、あまり差が出なかつたりして、切替の手間や不安を考えたら、あまりメリットを感じず。そもそも賃貸なので、切替できるのかもよくわからないし、それを確認するほど、お得感も感じず。
→切替なくていいか(結論)
- ・あくまでも安全性と災害時も含めた安定供給が前提です。前に住んでいたマンションで理事長を務めていた時に、契約書を素人ながらも念入りにチェックし、怪しい会社を排除した経験あり。

【電気について】

- ・電力の自由化により各社のCMを目にしたため、幾つか問い合わせをしたところ、どこも消費量が多い月はお得だが、少ない月は逆に高くなるので一年を通すとあまり変わらない為現状のままにした。
- ・我が家は安いので切り替えるだけのメリットがない。特に電気に関しては20Aなので切り替えるのであれば一度30Aに上げなくてはいけない。切り替え代金を支払ってまでの価値はないと思っている。
- ・電力自由化の際、会社変更やメニュー変更も検討したが、どれも最低300kwh以上消費しないと割安にはならない。使えば使う程お得という料金体系は、震災時の不自由を忘れたのかと腹立たしい。節電に努めると何の割引も得られないのはおかしい！
- ・夏はエアコンの使用で電気料金が高いです。最近では老人の熱中症が多いようです。節電したいですが、健康第一ですから、ほどほどの節電です。夏場の特別割引が欲しいです。

【ガスについて】

- ・ガス料金について、現在は賃貸なのでガス会社は選べないが、簡単に料金比較できるようにしてほしい。情報開示されていないので、契約するときでないとわからない。
- ・都市ガス地域から転居してLPガス代の料金の高さに驚いていると共に、マンションの為わが家だけでは選択出来ないストレスもある。
- ・ガス料金が少し高い様に思っているが、自由化されて少しは安くなる事を期待しています。でも安全が第一なので、なんとも言えないです。
- ・プロパンガスは都市ガスに比べると割高だなと思うが、災害時には、都市ガスは機能しなくなるので、やっぱりプロパンガスがいいと思っている。

「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査（5月分）調査票

わが家の電気・ガス料金しらべ

生協（コープ）では、昨年4月の「電力自由化」に伴い、「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査を2回（5月分・8月分）実施し、その結果を踏まえて社会的に問題提起を行ってきました。

今年も、2017年2月には、LPガス業者向けのガイドラインが国から出され、4月からは「都市ガス自由化」が始まるなど、くらしに関わるエネルギーの情勢は大きく動いています。

これらを踏まえ、引き続き2017年も「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査を実施していきます。今回は、5月分の電気・ガス料金について調査を行います。

みなさまのご協力をお願いします。

お手元に、2017年5月の電気料金とガス料金の領収書あるいは請求書をご準備の上、「回答する」のボタンを押して、アンケートへの回答をお願いします。

なお、調査項目の「プロフィール」の「郵便番号・住所・お名前」までご入力いただいた方の中から、合計100名の方に1,000円の図書カードをお送りいたします。当選は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※当調査における個人情報の取得は、日本生活協同組合連合会及び調査委託会社での分析、図書カードの抽選・送付のみに使用します。

（日本生活協同組合連合会の情報セキュリティと個人情報保護については[こちら](#)）

回答する

Copyright 日本生活協同組合連合会 All right reserved.

【電気についての設問（電力会社：その他）】

わが家の電気・ガス料金しらべ

必要事項をご入力の上、「確認画面へ」ボタンを押してください。

▽電気についてお伺いいたします

5月の電気使用量

必須

kwh

*小数点以下は四捨五入し、整数でご回答ください

5月の電気料金

必須

円

5月の電力会社名

必須

その他

▽その他の場合は電力会社名のご入力をお願いします

電力会社・料金メニューの切り替え経験・予定

必須

▽ 選択してください

【ガスについての設問（ガスの種類：LPガス）】

▽ガスについてお伺いいたします

ガスの種類

必須

プロパンガス(LPガス)

*簡易ガスとは、簡易ガス発生設備でガス（主にプロパンガス）を発生させ、70戸以上の団地などで導管を使って供給しているものです。

5月のガス使用量

必須

m³

*小数点以下は四捨五入し、整数でご回答ください
*ガスを使用していない方は、「0」とご入力ください

5月のガス料金

必須

円

*ガスを使用していない方は、「0」とご入力ください

ガス会社名

必須

*ガスを使用していない方は、「なし」とご入力ください

2017年の4月から都市ガスの自由化がはじまり、都市ガスの会社や料金メニューを自分で選べるようになりました。都市ガスが自由化されたことをご存知でしたか？

都市ガス自由化

必須

▽ 選択してください

▽プロパンガス（LPガス）をご利用の方のみお伺いいたします。

プロパンガス（LPガス）販売事業者は消費者との契約に当たっては、配管その他の設備関係の所有権や所有関係及び価格算定方法等の重要事項を消費者に対して十分に説明し、取引等の内容を明確にするために書面の交付を義務づけています。このような書面を販売事業者からもらいましたか？

販売事業者からの書面確認の有無

必須

▽ 選択してください

▽ご協力いただける方のみお願いします。

電気料金・ガス料金について知っていること

【回答者についての設問（プロフィール）】

▽プロフィール

家族人数 必須

あなたのお宅は 必須

お住まいの都道府県 必須

▽図書カードの抽選をご希望される方のみお答えください

以下の郵便番号・住所・お名前までご入力頂いた方の中から、合計100名の方に1,000円の図書カードをお送りいたします。

当選は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※当調査における個人情報の取得は、日本生活協同組合連合会及び調査委託会社での分析、図書カードの抽選・送付のみに使用します。

郵便番号 〒

住所（市区町村番地）

住所（建物名）

お名前

確認画面へ